

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
255132100	管理栄養士特論A	管理栄養学科 教員全員		専門	2	選択	3後期

## 科目の概要

DP2に記載されている疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造することができる管理栄養士の育成を目指します。また、DP1記載の建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して課題を解決していくことができるよう、学修の取り組み姿勢を通してその基盤も形成します。  
「管理栄養士特論A」は、1、2年次及び3年次前期までに習得した管理栄養士に必要な専門基礎と専門科目の基礎的内容を再確認し、不足している知識の充足を目指す。

学修内容	到達目標
① 各教員の講義において、専門基礎と専門科目の基礎的内容を再確認する。 ② 各教員の講義において、専門基礎と専門科目の関連性を再確認する。 ③ 各教員から与えられる国家試験問題を解答し、理解する。 ④ 模擬試験受験後に、問題の解題を行う。	① 専門基礎と専門科目の基礎的内容を修得することができる。 ② 専門基礎と専門科目の関連性から、理解不足の内容を認識（課題発見）し、それを補うことができる。 ③ 模擬試験で、各分野の問題を50%以上正解できる。 ④ これまでの授業で使用した教科書・資料、国家試験対策本を活用し、模擬試験問題の解題を行い、不備なく提出できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 管理栄養士国家試験合格という目標に向かって指示が無くても、毎日の課題について取り組むことができる。 課題を行うのに必要な知識について、教科書・参考書を利用して自己学修することができる。
	働きかけ力 グループ学修を実施するために、人に声かけすることができる。
	実行力 模擬試験解題を完成させるための順序や方法を考えて、毎日決めた量を実施して、期日までに提出する事ができる。 作成した計画は必ず完遂することができる。
考え抜く力	課題発見力 専門基礎と専門科目において、特に修得不足の科目を見極めることができる。
	計画力 修得不足の科目を中心に、期間を決めて学修すべき計画を作成することができる。
	創造力 自分に適した学修および記憶方法を作り出すことができる。
チームで働く力	発信力 グループ内で学修方法や進捗状況を話し合い、疑問点や重要点について意見交換をすることができる。
	傾聴力 講義やグループ内の意見を正確に理解して実行することができる。
	柔軟性 問題を解くにあたり、固定観念に囚われず、多角的な思考ができる。
	状況把握力 自分の修得度を正しく理解し、目標に向かって努力することができる。
	規律性 課題の提出は必ず守ることができる。 学業、日常生活において準備がしっかりできる。
	ストレスコントロール力 成果が出なくても、学修意欲を失わない。 OnとOffの切り替えをすることができる。

## テキスト及び参考文献

テキスト：レビューブック管理栄養士、管理栄養士国家試験受験必修過去問集  
1～3年生で使用した専門基礎、専門科目の教科書全般、講義・実習等で配布した資料  
管理栄養士国家試験過去問集

## 他科目との関連、資格との関連

「管理栄養士特論A」は、これまで履修したすべての科目で得た知識や技術を活用する。その後に履修する「管理栄養士特論B」「管理栄養士特論C」の基礎となる科目である。  
資格との関連：管理栄養士国家試験を受験するためには、本科目の単位修得が必須である。

学修上の助言	受講生とのルール
予習：1～3年生で使用した教科書、参考書を読み、内容を復習して授業に臨む。 復習：授業テーマごとに実施された内容を配布プリント、ノートで確認し理解・記憶する。不明な点は担当教員に質問し、その日のうちに解決する。	解題は卒研指導教授の確認を得てから提出すること。解題がきちんと提出されない場合は、特論Aの単位が不可となる。不可となった学生は4年生で再履修しなければならない。 特論Aの単位が取得できない場合、国家試験を受験できなくなるので必死に取り組むこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		50	①	✓	<p>【知識の獲得（100%）】</p> <p>定期試験に代わる模擬試験の正解率が50%以上ないと点数はつかない。50%の場合を10点とし、正答率が1%上がるにつれ点数も1点ずつ上昇する。最高点は正解率が90%の場合の50点である。</p> <p>*この科目内で課される解題をきちんと提出（免除の場合は除く）すれば、社会人基礎力と合わせて50点となるため、定期模擬試験で正答率が50%以上なら10点以上が加算され、可（60点）以上の評価となる。</p>
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
レポート			40	①	✓	<p>解題の提出は、期限を守り、内容もきちんとしたものであること。この科目内では、2回の提出があるが、2回ともきちんと提出された場合、40点とする。ただし、2回の内一度でも、きちんと提出できなかった場合は0点となる。</p> <p>*模擬試験の点数によって解題の提出が免除となるが、その場合は提出をしなくても0点になることはない。</p>	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①				
			②				
			③				
			④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解題の作成計画を立てて、すすめることができる。（主体性）</li> <li>・解題を作成するために、必要な教科書や資料を活用することができる。（実行力）</li> <li>・解題の作成を通して、不得意・未修得分野を明らかにすることができる。（課題発見力）</li> <li>・自分独自の解題を作成することができる。（創造力）</li> <li>・解題の作成において、不明瞭な点を進んで教員や他の人に質問することができる。（発信力）</li> <li>・講義内容を正確に理解して、解題の作成に生かすことができる。（傾聴力）</li> <li>・解題を決められた期限までに作成し、提出することができる。（規律性）</li> </ul>	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S（秀）の基準は、きちんと解題が提出され、さらに模擬試験の正解率が80%以上とする。</p> <p>A（優）の基準は、きちんと解題が提出され、さらに模擬試験の正解率が70%以上80%未満とする。</p>	<p>B（良）の基準は、きちんと解題が提出され、さらに模擬試験の正解率が60%以上70%未満とする。</p> <p>C（可）の基準は、きちんと解題が提出され、さらに模擬試験の正解率が50%以上60%未満とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	社会 環境と健康 基礎編 (岡田)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	人体の構造と機能、および疾病の成り立ち 基礎編1 (岸上)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	人体の構造と機能、および疾病の成り立ち 基礎編2 (内田)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	人体の構造と機能、および疾病の成り立ち 基礎編3 (服部)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	食べ物と健康 基礎編 1 (館)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	食べ物と健康 基礎編 2 (舟橋)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	食べ物と健康 基礎編 3 (澤入)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	基礎栄養学 基礎編 (竹村)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	応用栄養学 基礎編 (増田)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	栄養教育論 基礎編 (田中)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	臨床栄養学 基礎編1 (林)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	臨床栄養学 基礎編2 (平井)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	公衆栄養学 基礎編 (上島)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	給食経営管理論 基礎編1 (小関)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	給食経営管理論 基礎編2 (石川)	講義 担当分野の各教員が作成した問題を解かせ、解答・解説をする。  ディスカッション(対面・google classroom)	各時間に実施するオリジナル問題について、60%以上正解する。	予習：特論テキストにある、その日の講義分野を熟読する。 復習：講義で実施された問題の見直し、特に誤った問題についてはテキスト等で確実に身に付ける。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力